

6/29 木曜

元首相の見識が問われる

相は各地で自民公選候補の応援演説を行い、「憲法改正を取組んでいかれた」と述べながら、「多くの憲法学者が自衛隊連携と齧りついでいる。共産党も言っている。でも、やはりこれまで活用するに至っていない。おかしくじやないか」(27日、石川県能美市)などと日本共産党を

安倍氏の共産党攻撃

攻撃したことある。

しかし、本紙の田中「破綻した漫罵を繰り返す安倍元首相のお粗末な共産党攻撃」で指摘した通り、党が参加する連携議論がさっさと投げ捨てられ、自衛隊が自衛隊に対する公選政権が自衛隊に対してもどう憲法判断を行ったかは、党としての憲法判断とは別個の問題です。自衛隊解消の国際的熱効(じりふ)に攻撃するのも、むしろ一種のデマ攻撃です。元首相として最後限求められた見識がどれであるかは、日本共産党が参加する政権の見識が問われます。

法判断は自衛隊＝自衛であり、その政権が自衛隊を活用する限り、憲法を適用すれば、たゞ、上句の問題もあらません。このことは、2017年総選挙の際の党首討論で、安倍の攻撃に対する日本共産党の志位和夫議論がさっさと投げ捨てられました。